

要望書について（回答）

- 提出者：倉吉商工会議所
- 受付日：令和4年1月20日
- 回答日：令和4年3月4日

1. 新型コロナウイルス感染防止並びに経済対策の推進について

(1) 制度融資や各種支援金補助金制度の継続

【回答：商工観光課 Tel 22-8129】

新型コロナウイルス感染症の感染拡大による売上げの減少により資金繰りに不安を感じておられる事業者の皆様を支援するため、引き続き国県と協調して引き続き制度融資を行ってまいります。

(2) 緊急支援策の充実（各種給付金）

【回答：商工観光課 Tel 22-8129】

国による新型コロナウイルス関連の緊急経済対策補正予算につきまして随時情報収集を行うとともに、貴所、市内金融機関、地元主要団体等へのヒアリング等を通じて、地元のニーズにあった本市独自の支援策の充実に努めます。

(3) 感染防止対策の推進（適時的確な情報提供など）

【回答：健康推進課 Tel 27-0030】

感染症予防に関する広報として行政無線、メール配信サービス等を通じて、こまめな手洗い、マスクの着用、換気、アルコール消毒の実施、3密（密集・密着・密閉）の回避、不要不急の外出や感染拡大地域への往来を避けるなど、国や県から発信される情報をその必要な状況に合わせて市民に呼びかけている。

(4) コロナ禍から回復に向けた経済対策の実施

- ・観光キャンペーンへの協力（観光関連事業者への支援）

【回答：商工観光課 Tel 22-8129】

新型コロナウイルス感染症の長引く影響により大きな影響を受け続けている観光産業を支援するため、令和2年度から令和3年度にかけて、市民等による地元消費の後押しを目的とした「もっと倉吉観光キャンペーン」や、市外からの観光誘客による消費促進を目的とした「倉吉トク旅キャンペーン」等を実施してきたところです。

今後、国、県において、Go To トラベルキャンペーン等の経済支援策の実施が予定されていますので、その動向を注視しつつ、観光関連事業者の声も伺いながら、地域経済の回復に向けた切れ目のない本市独自の経済支援策を検討してまいります。

2. 産業、経済振興について

(1) 地域の経済対策（創業、経営革新、制度金融の充実、雇用対策）

【回答：商工観光課 Tel 22-8129】

創業支援につきましては、以前は、倉吉商工会議所、商工会産業支援センター、鳥取県中部各町及び本市がそれぞれ独自に創業支援相談窓口を開設しておりましたが、平成25年に産業競争力強化法が成立したことを機に、支援の効果を高めるために、鳥取県中部1市4町が共同して平成26年10月に同法に基づく創業支援事業計画を策定し、鳥取県中部地域全域の情報を共有し、連携して創業支援相談事業を実施しております。

この計画において、創業支援相談窓口のコア窓口を倉吉商工会議所及び商工会産業支援センターに置き、サテライト窓口を各自治体に置き、鳥取県中部地域全域で創業者及び創業希望者向けの創業支援相談体制を構築し、創業者の増加を図っております。

経営革新につきましては、生産性向上特別措置法に基づく支援により、生産性向上に資する先端設備等

を導入された場合の固定資産税の軽減措置を行ったり、日本貿易振興機構（JETRO）による海外への販路拡大の支援を行ったり、起業家育成事業により次代を担う小中学生に起業家教育を行っております。

制度融資の充実につきましては、中小企業の振興と地域経済の活力ある発展を図るため、鳥取県と連携して、事業の活性化や経営の安定化など利用目的に応じた融資制度を整えております。制度融資に関し要望がございましたら、お知らせください。

雇用対策につきましては、県立ハローワークと連携し、求人情報の提供等を行ってまいります。引き続き、地域経済の振興に向けた各種施策を貴所と連携し推進してまいります。

（2）公共事業の確保と地元業者への優先発注及び地元調達

ア. 補助金交付対象工事等の地元起業への優先発注促進（介護・福祉関係等）

【回答：管理計画課 Tel 22-8174】

本市が発注する建設工事につきましては、従来から地元企業を優先して工種別に入札参加資格を有する者の中から指名業者を決定しているところです。

下請においても原則として市内業者を活用し、資材の購入につきましても県内産の資材を使用するとともに、県外産の資材を使用する場合は、県内販売業者から購入することとしております。

今後も公共事業の確保を図るとともに、地元業者を優先した事業を推進してまいります。

【回答：長寿社会課 Tel 22-7851】

当該工事等に係る鳥取県の補助金交付要綱において、補助事業の実施にあたっては県内事業者への発注に努めなければならないと規定されております。本市の地元業者を優先した事業推進と併せて周知するよう取り組んでまいります。

イ. 建築関係の公共事業の安定発注

【回答：建築住宅課 Tel 22-8175】

現在、グリーンスコーレせきがねの改修、市営長坂新町住宅の改築、大御堂廃寺跡歴史公園の整備などの計画を検討しています。今後、計画実施となった場合には一定数の工事発注が見込まれることとなります。

また、住宅リフォーム補助事業による住環境の整備を促進し、建築工事における民間需要の喚起につなげていきたいと考えております。

（3）地場産業並びに新産業の育成支援

ア. 起業化、農商工連携等支援

【回答：商工観光課 Tel 22-8129】

鳥取県中部1市4町で策定した創業支援等事業計画に基づく創業支援を行っており、平成30年度8個人5法人、令和元年度13個人3法人、令和2年度11個人4法人、令和3年度は令和4年2月24日現在で13個人1法人と創業者が増加傾向にあります。引き続き創業支援を行い創業者が増加するよう努めてまいります。

【回答：農林課 Tel 22-8157】

豊富な農産物等を活用した加工品生産、農商工連携や6次産業化による地場製品の育成は、倉吉市だけでなく鳥取県全体の課題です。

農産物等の活用の推進、地場製品の育成に当たっては、鳥取県や鳥取県産業振興機構等の関係機関と連携を図るとともに、加工施設や機械整備、販路開拓などの取り組みにつきましては、国・県等の様々な補助事業を活用しながら、市として必要な支援を行います。

イ.ものづくり産業への支援（新商品開発、販路開拓、特区の活用）

【回答：商工観光課 Tel 22-8129】

生産性向上特別措置法に基づく支援により、生産性向上に資する先端設備等を導入された場合の固定資産税の軽減措置を行ったり、市場開拓支援事業による商談会、展示会等への参加を促すことによりものづくり産業への支援を行ってまいります。

（４）伝統技能の保存と伝承（保存館等への継続支援、後継者育成、商品化支援）

【回答：商工観光課 Tel 22-8129】

はこた人形につきましては、後継者の候補となる製作研修生1名について令和2年10月から研修を開始することで、後継者の育成に努めているところです。また、倉吉はこた人形保存会と連携し、はこた人形の伝承とともににはこた人形工房の新商品の企画、販路拡大等を支援しているところです。

倉吉緋につきましては、倉吉緋保存会の行う販路拡大のための展示販売、会員の拡充等を支援することにより、技術の伝承と後継者の育成に努めているところです。

引き続き、保存会等関係する方々と連携・協力し、後継者の育成や事業PR等の支援を図ってまいります。

（５）地元での消費促進啓発並びにキャッシュレス化の推進

【回答：商工観光課 Tel 22-8129】

これまで国によるキャッシュレス・ポイント還元事業等の効果により、キャッシュレス化が進められているところではありますが、未導入の店舗やキャッシュレスに馴染みのない消費者もまだ多く、更なるきめ細やかな周知・情報提供が必要だと考えます。

今後もキャッシュレス化の有効性等について情報収集を進めるとともに、情報提供を図りたいと思いますので、その際には貴所会員の皆様に周知いただくとともに、会員以外の多くの事業者にも普及できるようご協力をお願いします。

3. 鳥取県立美術館の開館に向けた円滑な推進について

（１）県立美術館と共に歩む中部地区の集い協議会と連携した活動展開

【回答：企画課 Tel 22-8161】

令和7年春の美術館開館に向け、地域では、地域の活性化・まちづくりの観点より、美術館を活用した各主体の活動のきっかけとするため、美術館に関する情報・スケジュール・課題の共有化を行い、参加する各主体が自らの活動へと繋げるよう促す目的で、平成29年12月26日に、県立美術館と共に歩む中部地区の集い協議会（事務局：鳥取中部ふるさと広域連合）が設立されております。

地域の具体的な課題解決を検討する部会として、①観光周遊・経済（飲食）、②公共交通、③交通アクセス、④周辺環境、⑤応援団、⑥周辺博物館に加え、⑦経済青年3団体で構成する盛り上げ部会が設置されました。この部会のうち、4部会は倉吉市の担当セクションが事務局を担っています。

情報・スケジュール・課題の共有化のもと、協議会に参加する各主体の一つとして、倉吉市の自らの活動へ繋げていくとともに、各主体の活動へ繋がる協力につきましても積極的に行いたいと考えております。

なお、倉吉市では、これまでは、ハード事業など時間を要する事業を中心として、検討を進め、取組みを行ってきましたが、美術館との相乗効果を発揮するためのソフト事業について、協働して検討し、進めていく必要があると考えおります。貴所におかれましても、美術館を契機とした地域における協働の取組みについて、地域がより良い方向へ向かうよう、共に検討いただければ幸いです。

（２）県立美術館開館（令和7年）に向けた周辺環境の整備

【回答：企画課 Tel 22-8161】

令和7年春の美術館開館に向け、令和4年1月に美術館建設工事がスタートしました。

倉吉市では、美術館の整備・開館に合わせ、大御堂廃寺跡地、リス舎跡地、美術館東側道路の整備について、関係者と調整を図りながら、検討を行ってまいりました。令和3年～4年度において、周辺環境の整備に関する設計を行い、令和5年～6年度にかけ工事を行っていく予定としております。

美術館に来られるお客様に、スムーズに着地していただくとともに、倉吉の文化を感じていただけるような取組みの土台となる整備であることから、しっかりと取り組んでまいりたいと考えております。

4. 人口増加策の積極的な推進について

(1) 将来地元へ定住のための郷土への愛着教育推進（学校教育、社会教育、家庭教育）

【回答：学校教育課 Tel 22-8166】

学校・家庭・地域を取り巻く諸問題を解決するためには、学校・家庭・地域がそれぞれの役割と責任を十分自覚するとともに、互いに信頼しあえる関係を築きながら、社会総がかりで教育力を充実していく必要があります。そのため、地域との連携協力関係を構築していくために、倉吉市内の学校では地域学校委員会（コミュニティスクール）を開催し、学習支援、環境整備、登下校の見守りなどのボランティア活動を中心とする学校支援活動を実施しています。

また、子どもたちが倉吉の自然や歴史、文化などに誇りと愛着が持てるよう、ふるさと学習を中心に取り組みを行っています。引き続き、地域の特色を生かし、人材や自然・歴史・文化などの財産を使い、「倉吉独自の教材づくり」「地域の人・もの・ことがらに触れる教育活動」「倉吉らしさを取り入れた教育活動」を推進します。

(2) 若者定住とU・I・Jターンの積極的な推進及び婚活推進

ア. 古民家や町家を活用したU・I・Jターンの推進

【回答：地域づくり支援課 Tel 22-8159】

本市では活発な地域経済活動を維持し、人口減少を緩やかにするための移住施策として、移住を検討されている方への相談体制、支援制度の充実に加え、古民家や町家を改修し、活用されている宿泊施設（ゲストハウス）は若者の利用が多く、移住体験していただくことにより、田舎暮らしの魅力・情報を発信しています。

また、市内事業所への就職あっせんなど、求人・求職双方のニーズに応じたきめ細かな対応を行っています。

引き続き、県をはじめ関係機関とも連携しながら若者の転出に歯止めをかけ、移住者の増加につながるような施策を推進していきたいと考えています。

イ. 若者から幅広い年代での婚活促進

【回答：地域づくり支援課 Tel 22-8159】

婚活事業については、本市では、イベントやセミナーの参加者の確保と心理的な負担を軽減することを目的として、県中部圏域1市4町で連携して事業に取り組んでいます。また、地域ぐるみで婚活に取り組む団体を支援するため、「倉吉市地域で取り組む結婚に向けた出会いの機会等創出事業費補助金」を平成28年度に創設し、継続的な取り組みを行っていただいています。

今後も、関係機関・団体と連携し、世代を含めたニーズを把握・検討しながら事業を推進してまいります。

5. 観光産業の振興と観光施設への支援について

(1) コンベンション等誘致に対する支援による観光振興

ア. スポーツツーリズムによる観光振興並びにスポーツ合宿の誘致に対する支援

- ・全国規模で開催されるスポーツコンベンションなど誘致に対する支援

【回答：地域づくり支援課 Tel 22-8159】

全国規模で開催されるスポーツコンベンションなどの誘致・開催は、県内外から多くの関係者が来訪し、

宿泊・飲食費や運営に要する経費等による経済波及効果が見込まれます。また、地域の多種多様な魅力を顕在化させ、発信する絶好の機会となり、そこからさらに新しい観光価値の創造も期待できるなど、観光のまちづくりの実現が促進される契機になると考えます。

全国規模で開催されるスポーツコンベンションなどの誘致について、鳥取県、競技団体及び関連する企業や観光団体等と連携・協働しながら継続的に取り組みを進めます。

・倉吉自転車競技場の活用

【回答：地域づくり支援課 Tel 22-8159】

倉吉自転車競技場は、西日本でも有数の自転車専用競技場であり、周辺道路もロード競技に適していることから、全国大会をはじめ広域規模の大会の開催や県外の大学や高校のチームの合宿に活用されています。また、生涯スポーツの国際総合競技大会である「ワールドマスターズゲームズ2021 関西自転車競技」のトラック競技の会場となっております。

ワールドマスターズゲームズ2021 関西自転車競技の開催準備を通じ、倉吉自転車競技場や周辺道路のロードコースとしての魅力についてPRを行い、自転車競技と宿泊、観光面を融合させたスポーツツーリズムの取り組みを推進していきます。

・倉吉体育文化会館のスポーツライミング施設の活用

【回答：地域づくり支援課 Tel 22-8159】

倉吉体育文化会館内の倉吉スポーツライミングセンターは、国際基準を満たす施設であり、近年では「ボルダリングユース日本選手権」「クライミングアジア選手権」等の全国・世界規模大会が開催されるとともに、スポーツライミングの日本代表合宿及びフランス代表チームのキャンプが実施されました。

本センターの交通アクセス、徒歩圏内の宿泊施設立地による利便性やスポーツライミングの三種の壁が揃う施設の優位性をアピールし、各種全国規模大会の開催やキャンプ地として活用されるよう、鳥取県、競技団体等と連携を図りながら取り組みを推進していきます。

イ. 全国や地方規模のコンベンションや展示会、会議の誘致に対する支援

・日本女性会議2022 in鳥取くらし（10月）に対する支援

【回答：商工観光課 Tel 22-8129】

新型コロナウイルス感染症の全国的な感染拡大により、感染が拡大している地域からの移動を伴うような全国や地方規模のコンベンション、展示会、会議の誘致が非常に難しい状況となっておりますが、（公財）とっとりコンベンションビューローと連携し、感染状況を踏まえながら、日本女性会議2022 in鳥取くらし等に対するコンベンション開催助成金の交付等による誘致支援を継続的に推進してまいります。

【回答：人権政策課 Tel 22-8130】

全国規模で開催されるコンベンションなどの誘致・開催は、県内外から多くの関係者が来訪し、宿泊・飲食費や運営に要する経費等による経済波及効果が見込まれます。また、地域の多種多様な魅力を顕在化させ、発信する絶好の機会になると考えます。

新型コロナウイルス感染症の全国的な感染拡大により、感染が拡大している地域からの移動を伴うような会議の開催が非常に難しい状況となっておりますが、感染状況を踏まえながら、日本女性会議2022 in鳥取くらし実行委員会、男女共同参画推進関係団体、（公財）とっとりコンベンションビューロー、鳥取県、企業や観光団体等と連携・協働しながら取り組みを進め、開催に必要な支援を行います。また、日本女性会議2022 in鳥取くらし実行委員会に対し、一般財源及び企業版ふるさと納税を活用した補助金の交付等による支援を推進してまいります。

なお、この会議は、働く場での男女共同参画、女性活躍もテーマとなっていることから、貴会との一層の連携のもと本市における企業・事業所等から多数ご参加いただきますよう、どうぞよろしくお願い致します。

ます。

ウ. 小・中・高校生の修学旅行の受け入れ促進（白壁土蔵群、関金周辺等）

【回答：商工観光課 Tel 22-8129】

農家民泊等の充実による修学旅行の受け入れに関し、本市としては、倉吉市体験型教育旅行誘致協議会を中心に受入環境の整備や販促活動に取り組んでいます。その結果、年々、受入人数が増え、令和元年度は約1,400人の受け入れを行ったところですが、新型コロナウイルス感染症の長引く影響により、令和2年度及び令和3年度の受け入れを中止しています。

令和4年度は、現時点で約1,600人の農家民泊の要望があることから、受け入れ再開を目標に、現在、先進地事例の勉強会等を開催しながらコロナ禍における修学旅行の受入体制の整備に取り組んでおり、引き続き、同協議会と連携した修学旅行の受け入れ促進に努めてまいります。

(2) 白壁土蔵群周辺への観光振興支援

ア. 白壁土蔵群周辺建造物に倉吉緋の暖簾掲揚を推進

【回答：商工観光課 Tel 22-8129】

通過型の観光地から滞在型の観光地へと成長していくための観光まちづくりを検討するため、今年度から貴所をはじめ、倉吉観光MICE協会、倉吉市中心市街地活性化協議会等に参画いただき、「倉吉らしい観光まちづくりを考える会」を立上げ、モビリティの向上を中心とした検討を進めているところです。

来年度は、新たなモビリティを活用した実証実験を通じてモビリティ向上の検討を更に進めるとともに、倉吉緋の暖簾の掲揚など新たな魅力向上の取組も検討してまいりたいと考えています。

来年度中に白壁土蔵群を中心とした周遊滞在エリアのモビリティ向上や新たな魅力向上に関する計画を策定し、令和5年度から官民が一体となって計画に基づく取組に着手していただけるよう努めてまいります。

イ. 鳥取空港からのリムジンバス運行経路の変更（県立美術館を見据えて）

・倉吉パークスクエアや白壁土蔵群経由

【回答：企画課 Tel 22-8161】

現在、鳥取空港からのリムジンバスは、鳥取空港～倉吉駅～青山剛昌ふるさと館を運行しています。

市内を運行する路線バスや、現在、倉吉市で検討しているグリーンスローモビリティとの競合、運行に係る経費につきまして、関係事業者との調整が必要となりますので、研究していきたいと考えます。

(3) 観光客にわかりやすい道路案内板や観光案内板の拡充整備（多言語表記含む）

ア. 主要幹線道路に白壁土蔵群への道路標識、案内看板等の整備

- ・国道9号線から北条湯原道路への交差点に「白壁土蔵群」表示を新設
- ・北条湯原道路（倉吉IC・倉吉西IC）から白壁土蔵群への誘導看板の設置
- ・「倉吉パークスクエア」と「梨記念館」がセットの案内看板に「白壁土蔵群」の案内表記の追加

イ. 白壁土蔵群周辺の県道に駐車場案内等の大型標識を設置

ウ. 白壁土蔵群エリア内に山陰・鳥取県全体地図の看板設置

【回答：商工観光課 Tel 22-8129】

道路案内板や観光案内板の拡充整備につきましては、現在、県立美術館と共に歩む中部地区の集い協議会交通・アクセス部会を中心に、令和7年春の県立美術館の開館を見据えて検討が進められています。白壁土蔵群周辺の駐車場案内等に関しても、その動きに合わせて、来年度、倉吉らしい周遊滞在型観光まちづくりを考える会の中で検討を進めていく予定です。

本市への観光客の移動は自家用車が中心であり、周辺地域からの導線を踏まえた案内板の再検討、再整備が必要と考えておりますので、引き続き、国や県等と連携しながら計画的な整備に努めてまいります。

(4) 文化財や歴史的建造物などを活用した文化観光の推進

ア. 古民家や町家、博物館、美術館等を活用した文化観光の推進

【回答：商工観光課 Tel 22-8129】

本市では、後世から大切に引き継がれた歴史や伝統文化、多彩で豊かな自然環境や農産物などの観光資源の磨き上げと、アニメなどのポップカルチャーを活用した新たな観光資源の発掘により、歴史的資源（レトロ）とポップカルチャー（クール）が融合した『レトロ&クールツーリズム』を推進しています。

令和7年春の鳥取県立美術館の開館を見据え、倉吉淀屋での講談や重要文化財等を展示している博物館と白壁土蔵群周辺店舗等とのコラボ企画等の従前の取り組みに加え、古民家などを活用した宿泊施設や町並みにあった移動手段や周遊モデルコースで文化施設を繋ぐことを検討するなど、引き続き、官民が一体となった周遊滞在型の観光まちづくりを推進してまいります。

イ. 県立美術館建設に伴う、アートの町並みの造成推進（フィギュアなど）

【回答：商工観光課 Tel 22-8129】

令和2年10月に倉吉市中心市街地活性化協議会の中に設置された「フィギュアのまち倉吉を創る会」と連携し、円形劇場くらしフィギュアミュージアムに加え、市内11か所にフィギュアを展示し、まちなかミュージアムとして整備したところです。今後、新たなモビリティの導入と併せて、緑の彫刻プロムナード公園の利活用策を検討するなど、アートの融合による倉吉らしい観光まちづくりを進めてまいります。

ウ. 文化財めぐりコース（ウオーキングコース）等の推進

【回答：文化財課 Tel 22-4419】

平成13年度から倉吉ライオンズクラブと共催で各地区に伝わる文化財をめぐる「ふるさと再発見ウオーク」を毎年継続して開催しています。このウオークの実施にあたっては、地域の文化財の掘り起こしを行い、新たなポイントを設定しながら行っています。

(5) 関金温泉及び観光資源を活用したイベントや観光施設整備等への支援

ア. 湯命館付近にキャンピングカー用の宿泊施設の整備（電源、水道、トイレ）

【回答：商工観光課 Tel 22-8129】

新型コロナウイルス感染症の影響で、三密を避けられるキャンピングカーのレンタル需要が増加しているとの報道もあり、コロナ禍における新しい旅行スタイルとして注目されています。

関金地域におけるキャンピングカーの受入環境の整備は、関金温泉の振興等に資する可能性があると考えますので、今後、キャンピングカーの利用者ニーズや整備費用と事業効果等につきまして十分に研究してまいりたいと思います。

イ. 関金町泰久寺駅周辺廃線跡観光客が利用できるトイレの確保

【回答：商工観光課 Tel 22-8129】

旧国鉄倉吉線廃線跡につきましては、テレビ番組やSNS等を通じた情報発信により、特に、泰久寺駅周辺には、例年以上に沢山の観光客が足を運んでいるようです。その一方で、路上駐車等の問題が生じており、地元自治公民館からも改善を求める声があったため、令和3年9月から12月まで臨時駐車場を仮設し、実証実験を行った結果、臨時駐車場への観光客の誘導や路上駐車への減少に一定の効果が見られましたが、駐車場整備に関する新たな課題も見つかったところです。

来年度も実証実験を継続し、更に効果検証を進め、旧国鉄倉吉線廃線跡の周辺整備に関する計画を立てた上で、地域住民の理解と協力を得ながら観光客の受入環境を整備できるように取り組んでまいります。

ウ. 旧国鉄倉吉線跡（廃線跡観光）の利用促進と入込客数の収集

【回答：商工観光課 Tel 22-8129】

旧国鉄倉吉線廃線跡を活用した観光誘客につきましては、倉吉観光MICE協会を中心に取り組んでおりますので、更なる利用促進策や入込客数の収集に関し、引き続き、同協会と協議して検討を進めてまいります。

(6) 通過型観光地から滞在型観光地への進化の推進

ア. 小川家住宅など古民家の活用

【回答：商工観光課 Tel 22-8129】

通過型の観光地から滞在型の観光地へと成長していくため、(株)赤瓦を中心とした「歴史的資源を活用した観光まちづくり」の取り組みの他、倉吉観光MICE協会により整備された宿泊施設の利用促進、古民家を活用した商業用施設の整備支援などを実施してまいります。

(7) アニメなどのコンテンツを活用した観光振興支援

・アニメなどのコンテンツ活用事業の観光振興につながる支援

【回答：商工観光課 Tel 22-8129】

アニメなどのポップカルチャーのコンテンツを活用した観光誘客の取組に関しては、ひなビタ♪を中心に「レトロ&クールツーリズム」と銘打って、本市ならではの観光振興策として積極的に推進してきたところです。

その結果、ひなビタ♪応援団と連携した各種イベントの開催による観光誘客はもとより、最近では、「フィギュアのまち倉吉を創る会」と連携したフィギュアを活用した取組をはじめ、元帥酒造の「神酒ノ尊・元帥」や(一社)倉吉観光MICE協会を中心に市内13団体と(株)エンバウンドが連携して制作した「倉吉八犬伝」など、本市の観光資源の中から新たなコンテンツが誕生し続けており、新たな倉吉ファンの獲得に繋がっています。

今後もこのような倉吉らしい観光まちづくりを推進し、交流・関係人口の増大に繋げていけるよう、引き続き、民間事業者によるポップカルチャーを活かした主体的な取組を支援してまいります。

6. 交通基盤の整備促進について

(1) 山陰自動車道の早期整備について(北条道路)

【回答：管理計画課 Tel 22-8174】

県内の山陰自動車道につきましては、令和元年5月に鳥取西道路が全線開通し、残る「北条道路」13.5kmは、平成29年度新規事業化され、喫緊の課題である交通事故多発箇所の1区間(北栄町)の立体交差化に向けた交通安全対策事業とあわせ整備が進められており、国土交通省からは令和8年度の全線開通の見通しが発表されたところです。

山陰自動車道の未整備区間の早期解消は、鳥取県及び中部地区のみならず山陰地方の経済や観光・産業の発展や地域の防災・安全対策や住民の利便性に大きな効果があるものと期待しており、県内区間が一日でも早く全線開通するよう今後とも国及び県へ強く要望してまいります。

(2) 地域高規格道路「北条湯原道路」の早期整備

【回答：管理計画課 Tel 22-8174】

「北条湯原道路」は、鳥取県中部圏域と岡山県真庭圏域を相互に連絡する延長約50kmの地域高規格道路であり、山陰道及び米子道と一体となった広域道路ネットワークを形成し、物流・防災・救急医療などの連携を図る上で本市にとって最重要路線です。

平成25年に倉吉道路の倉吉IC～倉吉西IC間が供用開始となり、物資輸送の効率化や安全で円滑な交通確保に大きく貢献しており、地域間の物流や交流、産業振興など大きく変容しつつあります。

現在、事業主体の鳥取県において「倉吉道路」の残区間とあわせ「倉吉関金道路」7kmのうち小鴨ハーフICから福山IC間3kmを一期区間として先行して整備を進めており、早期供用を目指して用地買収や

工事の促進を図っており、令和一桁代半ばの供用開始を目指しておられます。

岡山県側につきましては、真庭市蒜山下長田から初和までの区間6.2kmの「初和下長田道路」の早期供用を目指して整備（一般道路整備）が進められてきており、令和3年度初頭には一部供用開始されたところ です。

今後も福山から関金の残区間の早期事業着手を含め、早期全線供用されるよう関係市町と連携しながら、国及び鳥取県・岡山県に強く要望してまいります。

(3) 高速鉄道網の整備と山陰新幹線の早期実現

【回答：企画課 Tel 22-8161】

高速鉄道網の整備と山陰新幹線の整備は、国土の均衡を図る上で、また本市にとっても企業誘致や地域間交流の促進を図る上で不可欠な課題であり、その早期実現に向けては、関係団体と連携を図りながら国土交通大臣をはじめ県選出国會議員へ要望活動を行っています。

貴所も参加されている「山陰本線・福知山線複線電化促進期成同盟会」に市としても参加し、国等へ山陰本線の高速化、電化、複線化等を要望するとともに、山陰新幹線構想沿線にある7府県52市町村で構成する「山陰縦貫・超高速鉄道整備推進市町村会議」に参加し、国等への要望、広域的・全国的な啓発、調査・研究、情報収集・交換等に取り組んでいます。また、京都、兵庫、鳥取、島根、山口の各都道府県の公的団体で構成する「山陰新幹線建設促進期成同盟会」にも市として参加し、同盟会を通じ国會議員等に要望を行っております。

鉄道の高速化につきましては、リーズナブルでどれが実効性あるものか幅広く議論していくことも必要であり、早急に整備計画ができるものでもありませんので、今後も粘り強く県や関係自治体、そして経済界とも連携を図りながら、実現に向けた取り組みを進めてまいります。

(4) 「国道179号はわいバイパス」(久留～田後) 整備推進

・ 県立美術館の完成に合わせて早期整備を推進

【回答：管理計画課 Tel 22-8174】

国道179号の湯梨浜町田後から山陰道に接続するはわいバイパスは、鳥取県中部圏域と山陰道を繋ぎ、経済・観光等を支える重要な幹線道路であり、地域の活性化に大きく寄与する道路です。現道の国道179号が渋滞、交通事故の多発などの課題もあり、県は生活交通と通過交通の分離につきましての検討を重ね、令和元年度に整備の事業化しました。

また令和元年12月には山陰道「北条道路」の開通時期が令和8年度と公表されたことから、当該バイパスもその時期に合わせた供用を目指し、現在、道路の詳細設計につきまして地元への説明を終え、用地取得に向けた調査を実施中であると聞いています。

中部圏域の経済・観光・文化等の振興など地域の活性化に寄与するだけでなく、県立美術館のアクセス向上にも寄与する道路であることから、県では関係機関とも連携を図りながら重点的に事業に取り組んでおられます。地方創生を進める上で大きな効果があると期待しており、早期供用が図られるよう関係町とも連携しつつ、県へ強く要望してまいります。

(5) 「街路上井羽合線」(駅北通り線) 整備促進

【回答：管理計画課 Tel 22-8174】

街路上井羽合線(駅北通り線)につきましては、倉吉駅橋上化や区画整理による駅周辺の都市環境・土地利用の変化を踏まえた都市計画道路の見直しを行い、広域的な交通を担う幹線道路として計画された道路で、駅周辺交通の分散化や鳥取看護大学のアクセス向上など駅周辺のまちづくりや地域の活性化に大きく寄与するものと期待しております。

現在、倉吉駅から短大入り口までの区間(整備延長1,200m)を分割し2工区に分けて施工されています。これまでの施工が進み西側の工区については、令和4年中に完成する予定であります。東側の工区に

については、道路用地の取得や建築物等の移転に係る補償協議や工程調整などが進められており、令和6年度中の完成を目指しておられます。

市としても事業が円滑に進み早期供用が図られるよう県と協力して取り組んでまいります。

(6) 県道161号倉吉江北線整備（田内付近の道路拡幅整備）

【回答：管理計画課 Tel 22-8174】

県道倉吉江北線は、国道313号と国道9号を結ぶ県道で、市内から国道9号へのアクセス道路として利用されています。

県において幅員狭小で大型車通行規制解消のため倉吉市巖城（田内）地内の改良工事の実施を計画されており、平成30年度に実施設計を行い、令和2年度に区間の北側にあたる国交省田内倉庫前の整備をされています。現在、巖城橋交差点の形状改良について調査を進めておられ、今後、巖城橋までの区間につきまして継続して整備を進められる予定であると聞いています。

また、同路線では三明寺橋の改修工事を実施中であり、新田橋西詰交差点の渋滞対策として右折レーン設置も計画されており、測量設計業務を終え、令和4年度に発注予定と聞いています。

7. 鳥取・米子～東京便の増便継続並びに航空運賃の値下げについて

(1) 米子－東京便の1日6便、鳥取－東京便1日5便

（新型コロナウイルス感染症収束後を見据えて継続要望）

【回答：企画課 Tel 22-8161】

新型コロナウイルス感染症の影響により、空港利用者数が大きく減少しています。

鳥取空港の東京便については、羽田空港発着枠政策コンテストの提案が評価され、令和5年3月25日まで発着枠の配分を受けているところですが、需要減退に歯止めがかからず、減便、一部欠航及びターミナルの開館時間短縮等がなされているところです。

また、米子鬼太郎空港においても減便の措置がなされており、あわせて飲食・物販店舗の営業時間も短縮されるなど、両空港とも大変厳しい状況下にあります。

鳥取空港の利用を促進する懇話会においても、首都圏におけるPR活動等中止するなど十分な活動が行えない中ではありますが、安心して航空機をご利用いただける取組み等、生活様式の変化に応じた対応・対策を図っているところです。増便や運賃の値下げに関する要望も引続き視野に入れつつ、従来の取組みにとらわれない利用促進及び利便性の向上が図られるよう、鳥取空港の利用を促進する懇話会と共に検討してまいります。

経済界におかれましても、新型コロナウイルス感染症収束後を見据え、新たな旅客の誘致方法について改めて柔軟にご検討くださいますようお願いいたします。

8. 特急「スーパーはくと」の全便倉吉駅発着、特急「スーパーいなば」の倉吉駅乗り入れ再開について

（新型コロナウイルス感染症収束後を見据えて継続要望）

【回答：企画課 Tel 22-8161】

従来、人口減に伴い鉄道旅客が減少傾向にあったところ、この度の新型コロナウイルス感染症の影響も相まって、輸送人員が大幅に減少しています。時期によってはコロナの影響を受ける前と比較して2割程度の輸送量となるなど、「走らせる度に赤字が積み重なる」状況となっており、各社の経営面も逼迫しています。

このような状況において、倉吉駅発着のスーパーはくと6号及び9号が令和3年5月10日から運休となり、現在も通常運行を再開する目処は立っておりません。令和4年3月12日からは週末に限った運行になる予定となっておりますが、コロナの影響により運行がなされない可能性もあります。また、スーパーいなばについても厳しい利用状況は同様であり、コロナ感染者数の増減により輸送人員が時期によって大きくばらつくことで不安定な運行収支状況となっています。

各鉄道会社の現状を受け、JR線・智頭線中部地区利用促進協議会においては、利用促進の取組みを引続き行っていくこととしているところです。また、各鉄道会社とコロナ収束後の利用増進の取組みやダイヤのあり方について意見交換等を行いながら、持続的な交通の確保を求めていきたいと考えております。

この状況に対応した効果的な策を講じることが肝要であり、様々な方向からの働きかけが必要な局面となっております。経済界におかれましても積極的なご協力をお願いいたします。

9. 倉吉～東京間的高速バスの運行再開について

(新型コロナウイルス感染症収束後を見据えて再開要望)

【回答：企画課 Tel 22-8161】

安価で利用しやすい高速バスは、地方から都市部への移動の際などに多くの住民に利用されていますが、例にもれず新型コロナウイルス感染症の影響を受け、特に大都市間の輸送量が激減したことにより、倉吉～東京間的高速バス「キャメル号」については令和3年3月15日をもって路線廃止となったところです。

昨今の社会状況の変化は、高速バスだけでなく路線バスにおいても従来の利用者数減に拍車をかけており、コロナ収束後も利用者数が完全に戻ることは難しいと考えられています。

しかしながら、人の流れが戻ることを想定し、より社会の状況に対応した柔軟な交通体系を構築していくことは急務であると考えております。新たな利用の獲得も含め、ニーズに対応した利便性の高い(高速)バス運行が再開されるよう、状況の変化に注視しつつ、バス会社に働きかけてまいります。

10. 鳥取看護大学への継続的支援について(まちの保健室等)

【回答：企画課 Tel 22-8161】

鳥取看護大学が取り組む「まちの保健室」は、市民の健康増進にとって大変有効な取り組みであり、市としても運営費にかかる財政支援と市民への周知・広報の協力をしており、継続した取り組みを実施していきたいと考えております。また、健康福祉部子ども家庭課と大学が共同して取り組む「子育て支援型まちの保健室」の開催や、「まちの保健室」の場を活用した各種検診等の受診勧奨に取り組むほか、鳥取看護大学、コミュニティセンター、地域包括支援センター及び市などの関係機関で「まちの保健室」の取り組みにつきましても情報共有を図るため、定期的に連絡会を開催しているところであり、引き続き連携した取り組みを進めていきたいと考えております。

また、貴所が運営されている「鳥取看護大学・鳥取短期大学と地域の発展を推進する会」における地域と共に歩む大学の活動への支援を共に検討し、協力して取り組みを実施していきたいと考えております。

鳥取看護大学が開学してから7年が経過しました。多くの卒業生が地域に就職することで、地域に活力が生まれ、若者の地元定着が図られることを期待しております。

11. 中心市街地活性化の推進について

(1) 打吹回廊への支援(利用促進、駐車場にトイレ設置)

【回答：商工観光課 Tel 22-8129】

商店街の活性化拠点として整備した打吹回廊につきましては、団体客対応可能な食事処として、また地上15mから白壁土蔵群・赤瓦を見渡せる新たな観光施設としても大変重要な施設ととらえており、今後、他の観光施設との連携を強化していき観光ルート化を進めていくとともに、事業主体、関係機関と役割を明確にしつつ、来館者増につながるよう支援してまいります。

整備された駐車場でのトイレ整備支援につきましては、活用できる有利な支援策等がないかを調査研究してまいります。

(2) 円形劇場くらしフィギュアミュージアムへの支援(特別展開催への協力及び情報発信)

【回答：商工観光課 Tel 22-8129】

円形劇場くらしフィギュアミュージアムにおいては、少しずつ入込客が増加しているとお聞きしてい

ます。市としては、「ひなビタ♪」を通じた施設の魅力づくりを共働して進めていますし、令和2年4月より施行をしている「第2期中心市街地活性化基本計画」では、本施設を観光入込客数を増加させていくべき主要な観光施設の1つとして位置づけ支援することとしております。様々な特別展、イベントの実施時においては各種協力を実施していくほか、今後、他の観光施設との連携を強化していき観光ルート化を進め、事業主体、関係機関と役割を明確にしつつ、来館者増につながるよう支援してまいります。

(3) 倉吉市役所第2庁舎周辺の賑わい創出

【回答：商工観光課 Tel 22-8129】

倉吉銀座通り及び周辺では打吹回廊、市役所第2庁舎等の整備に牽引されるかのように、飲食を中心とした店舗の新規出店が一部で見受けられるほか、商店街や倉吉ひなビタ♪応援団など民間中心の組織活動が活性化してきています。今後もこれら団体と連携を密にしつつ、よりいっそうの中心市街地の活性化に努めます。

(4) 空店舗・空き家・空き地の活用推進

ア. 空店舗情報の充実とマッチング推進

イ. 行政機関が間にはいるなど家主が貸しやすい制度充実等

【回答：商工観光課 Tel 22-8129】

継続的に空き店舗調査を実施していくとともに、令和3年3月から配置した地域おこし協力隊の活動の一つとして、空き店舗情報の収集を倉吉市中心市街地活性化協議会と共同で進めており、今後も出店希望者とのマッチング等が円滑に図れるよう努めてまいります。

(5) 中心市街地の人口増加対策（住宅団地の開発）

【回答：商工観光課 Tel 22-8129】

第2期中心市街地活性化基本計画においても「中心市街地における人口の社会増減の改善」につきましては重点目標としており、こういった取り組みが最も事業効果が期待できるかにつきまして今後、市役所内部はもとより、貴所のほか倉吉市中心市街地活性化協議会等の各団体とも連携し検討を進めていきたいと考えます。

(6) 倉吉駅周辺の活性化（駅北市有地の活用）

【回答：商工観光課 Tel 22-8129】

倉吉駅周辺にある市有地の有効活用を図るとともに、倉吉の玄関口としての賑わい創出や活性化に向けて、地元商工連盟と共同して地域内での新たな事業の発掘や情報収集・調査研究を進めます。

(7) 小川氏庭園の利用促進並びに小川家の整備促進（県文化財指定）

【回答：商工観光課 Tel 22-8129】

平成29年度から継続的に修理を進めていきた県指定名勝の小川氏庭園「環翠園」は令和3年秋に一般公開を開始しております。今後、他の観光施設との連携を強化していき観光ルート化を進めていくとともに、事業主体、関係機関と役割を明確にしつつ、来館者増につながるよう支援してまいります。県指定保護文化財の小川家住宅につきましては文化財建造物としての特性を活かしながら活用できるよう支援していきます。

(8) 市街地街路灯や防犯灯の改修及び維持管理支援（老朽箇所の改修と維持管理費の補助）

【回答：商工観光課 Tel 22-8129】

市街地街路灯のうち広告灯が取り付けられている商業街路灯につきましては、近隣の商工業者で組織する団体が広告料等を徴収して維持管理を行っておられます。

本市では、商業街路灯の維持管理事業を行う団体に対して、商業街路等の維持管理に要する経費のうち、水銀灯取替、蛍光管取替、安定器取替等に要するもの等を対象に補助金を交付し団体の支援を続けておりますが、引き続き、商業街路灯の適切な管理を図るよう努めてまいります。

(9) 福吉町工場跡地の活用（住宅地としての活用）

【回答：商工観光課 Tel 22-8129】

当該地の活用を希望される事業者がある場合には、行政、関係機関と役割を明確にしつつ連携を図るとともに、住宅地としての活用についてもニーズの有無の把握に努めてまいります。

12. 関金地域活性化の推進について

(1) 旧山守小学校の活用

【回答：企画課 Tel 22-8161】

旧山守小学校の活用につきましては、これまで、民間事業者において小学校施設を活用した事業を実施していただくため、事業者公募を行ってまいりました。

この度、令和3年8月に応募があり、審査を行った結果、優先交渉事業者として「リングロー株式会社」を決定し、基本協定を締結しております。（リングロー株式会社は、東京都の会社で、中古OA機器の販売・買取・修理・サポートを業務として行われています。）

「リングロー株式会社」が旧山守小学校で行う事業としては、おかえり集学校プロジェクトとして、①地元に愛されていた旧学校施設を再び人々が集う場所とすること、②地域へのIT普及、雇用創出、地域イベント参加・企画を通じた地域活性化を図ること、③将来的に全都道府県に「集学校」を設置することを目的とし、パソコン・スマートフォンの無料相談、IT・OA機器の販売・サポート・出張設定・修理、地域住民の交流スペースとして無料開放（無料Wi-Fi完備）、イベントスペースや、ワークスペース、サテライトオフィスとしての貸出、イベントの企画・開催、地域イベントへの参加などの取組みを行われる予定です。

なお、無償貸付けを予定していることから、令和4年3月市議会定例会において「財産の無償貸付けについて」の採決をいただいた後、正式に契約を行い、事業がスタートすることとなります。

関金地区は、続く人口減少や、「グリーンスコーレせきがね」の閉館、新型コロナウイルス感染症拡大などの大きな影響により、大変厳しい状況となっています。令和3年4月より過疎地域として指定され、地域の持続的発展を目指した取組みを進めていかないといけない状況の中、この旧山守小学校を活用した事業を核として、地域が共に活性化を図って行く必要があると考えますので、貴所におかれましてもご協力いただければ幸いです。

(2) グリーンスコーレせきがねの活用

【回答：商工観光課 Tel 22-8129】

令和2年3月に閉館した旧グリーンスコーレせきがねについては、令和2年12月に本市に施設が返還されて以降、関金温泉を象徴する中核施設として再生するため、民間事業者を対象としたサウンディング調査や有識者による検討会議で施設再生の方向性等を検討し、令和3年10月に「旧グリーンスコーレせきがね再生プラン」を策定したところです。

持続可能な宿泊施設としての再生を成し遂げるため、令和3年12月には、㈱鳥取銀行に再生事業のコンサルティング業務を委託し、再生事業のスタートを切りました。

旧グリーンスコーレせきがねの再生を関金地域の持続的発展に繋げていくためには、旧グリーンスコーレせきがねの再生の動きに合わせて、地元住民をはじめ、地域の関係団体や産業関係者等と一体となって旧グリーンスコーレせきがねの中核とする観光のおもてなし体制を整備していく必要がありますので、再生に向けた機運の醸成を図りながらスピード感を持って取り組んでまいります。

13. 自然災害への対策強化について

(1) 河川整備、水位計設置、無電柱化、建物耐震補強促進

・河川整備について

【回答：建設課 Tel 22-8169】

天神川水系（天神川・小鴨川・国府川）の国直轄管理区間につきましては、国土交通省において、河床掘削・樹木伐採等の河川整備が計画的に進められているところです。また、県管理河川につきましても、県により必要箇所の河床掘削や草刈り等が実施されています。引き続き、国・県に対して計画的な河川整備を要望してまいります。また、市の管理する河川においても堆積土砂の浚渫や繁茂している草木の伐開を実施するとともに、豪雨の際にたびたび災害が発生する河川について護岸の整備を進めてまいります。

・水位計設置について

【回答：建設課 Tel 22-8169】

水位計につきましては、これまで国直轄管理区間及び県管理河川に水位計が必要箇所に設置されている状況です。現在、近年、全国で発生している豪雨等による水害の状況から、その対策を講じるため国交省および県において、それぞれの管理河川において新たな水位計、監視カメラの増設が進められておられます。今後、情報共有を行う中で設置が必要な箇所があれば、設置を要望してまいります。

・無電柱化について

【回答：管理計画課 Tel 22-8174】

電線地中化につきましては、倉吉駅からパープルタウンまでの県道部分、倉吉駅北側周辺、倉吉未来中心周辺等で電線の地中化が完了しています。現在、県ではパープルタウンから竹田橋の間の県道区間において、詳細設計を実施しておられると聞いています。

本市では伝統的建造物群保存地区内での一部電線地中化を計画してはおりますが、道路が狭小なため電線地中化工事を実施するためのスペースの確保が困難なこと、また10mあたり1,000万円を超える経費が必要となることから、今後、新たな高率の補助制度や技術革新により、市単独負担の圧縮ができれば、事業化が可能と考えています。

・建物耐震補強促進について

【回答：建築住宅課 Tel 22-8175】

倉吉市では震災に強いまちづくりを推進するため『倉吉市震災に強いまちづくり促進事業補助金』の制度を設けて、古い基準で建築された住宅及び建築物の「耐震診断・改修設計・耐震改修」にかかる費用を補助し、耐震化を促進するように取り組んでいるところです。

(2) 令和3年7月大雨で冠水した道路や地域、土砂災害危険箇所の災害対策)

【回答：建設課 Tel 22-8169】

現在、河川流域に関係する国、県、市町が協働し、これまで行ってきた河川管理者が主体となっていく治水対策に加え、流域全体でハード・ソフトの両面から水害を軽減させる治水対策である「流域治水」に取り組んでおります。今後も国・県・市でハード・ソフト一体となった浸水対策や土砂災害危険箇所の防災対策を進めてまいります。